

**第34回 北整北海道少年柔道大会 要項**  
(兼 文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会北海道予選)

- 1.趣 旨 少年の交流と親睦を図り心身の健全なる育成を目的とする。
- 2.主 催 公益社団法人北海道柔道整復師会
- 3.主 管 公益社団法人北海道柔道整復師会 小樽ブロック
- 4.後 援 公益社団法人日本柔道整復師会  
一般社団法人北海道柔道連盟  
北海道教育委員会  
小樽柔道会  
小樽市教育委員会  
北海道柔道整復師協同組合
- 5.日 時 令和7年6月15日(日) 午前9時30分 開会式  
(開場：午前8時30分頃予定)
- 6.会 場 小樽市総合体育館  
小樽市花園5丁目2-2 電話 0134-33-3710
- 7.参加資格
  - ①国籍、男女を問わない。学齢適齢であること。
  - ②参加団体は、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位とし、全日本柔道連盟に本年度の登録済みであること。  
なお、北整ブロック内における「選抜チーム」での参加も認める。
  - ③出場チームは、参加団体より複数チームの出場も認める。
  - ④チームの監督は、保護者から参加の承諾を申し込み時に必ず確認すること。  
また、監督と保護者は参加選手の大会出場にあたり、健康に異常(試合の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
  - ⑤出場者は、所管の教育委員会又は在学校長等の承認及び許可が必要となる場合があるので、遺漏のないようにすること。
  - ⑥皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合には、大会に出場できない場合もある。
  - ⑦脳震盪について、(選手および指導者は下記事項を遵守すること。)
    - i) 大会一ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
    - ii) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
    - iii) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
    - iv) 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 8.チーム編成
  - ①監督1名、4年生1名(先鋒)、5年生2名(次鋒・中堅)、6年生2名(副将・大将)と補欠2名の計8名以内とする。ただし、選手が5名に満たない場合は、3名以上での出場を認める。
  - ②選手の配列は上記の通りとするが、「同学年」の場合は体重の重い順に大将から配列する。欠員が生じる場合は後ろ詰めとする。
  - ③5年生あるいは、6年生に欠員の場合は下位学年で補うことができる。  
但し、先鋒は必ず4年生を配置すること。  
※次鋒・中堅(5年生)に4年生、副将・大将(6年生)に4年生あるいは5年生を選手登録することは可能であるが、監督は事故防止に充分配慮すること。
  - ④監督、選手とともに全日本柔道連盟に本年度の登録済みであること。且つ監督は全日本柔道連盟公認指導者資格を有していること。  
また、大会時は北海道柔道連盟発行の「指導者資格証」を必ず携行すること。

9. 全国大会出場 優勝チームは令和7年11月16日（日）の、公益社団法人日本柔道整復師会主催の全国大会に出場できる。
10. 試合方法 (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018～2020 及び 2022.1 一部改正導入）及び国内における「少年大会特別規定」による。  
(2) 団体トーナメント戦とする。  
(3) 勝敗は勝数による。勝数同数の場合は内容による。内容も同じ場合は代表戦を1回行い必ず勝敗を決する。  
代表戦は任意選手とし、ゴールデンスコア方式は行わない。  
(4) 試合時間は2分とする。
11. 判定基準 判定の基準は「技あり」以上、又は「僅差」とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは双方の選手間に技による評価がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による一優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。  
代表戦において、「技あり」以上、又は「指導」差2以上、がない場合は、旗判定とする。
12. 申込み方法 北海道柔道整復師会 HP に関係書類・連絡事項等をアップロードするので、ダウンロードし、必要事項を入力。申込期日までに各ブロック柔道部長に申込むこと。  
申込期日 令和7年4月28日（月）（期日厳守）
13. 参加料 1チーム 10,000 円  
各柔道部長へ振り込むこと。  
\*振込依頼人は、各団体名を記載して手続きすること。
14. 審判・監督会議 午前9時（予定）より、大会会場にておこなう。
15. ゼッケン (1)参加選手はゼッケン（名字、所属名入り）を柔道衣に取り付けること。  
(2)ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。

布 地	白色（晒、太綾）
サ イ ズ	横30cm～35cm × 縦25cm～30cm
文字位置	名字（苗字）は上側2/3、所属名は下側1/3 横書き
書 体	太いゴシック（楷書）、男子は黒色、女子は濃い赤色
縫い位置	後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける

16. 保 険 (1)主催者は参加者全員の傷害保険に加入し、費用を負担する。  
(2)参加選手は健康保険証を持参すること  
(3)主催者は大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。  
\*万一の事故に備え、独自で傷害保険に加入するなどして万全の事故対策を立てておくこと。
17. 組 合 抽 選 大会事務局で行う。
18. 表 彰 第3位までとする。
19. 選手変更 (1)試合初戦から選手を変更する場合はエントリー変更表に必要事項を記入し、大会当日、受付に提出してください。  
(2)競技開始後に選手変更の必要が生じた場合には、エントリー変更表に必要事項を記入し、各会場係に提出してください。エントリー変更表は各会場に準備してあります。